

北翔大学 公開講座

平成26年度 新学部開設記念
教育文化学部 教育学科・芸術学科・心理カウンセリング学科

札幌時計台大型模型への プロジェクションマッピング 13:00~13:35



建物や雪像に映像を映し出す「プロジェクションマッピング」が話題になっています。この実演レクチャーでは、会場に設営した札幌時計台の大型模型へさまざまな映像を投影しながら、立体物へのプロジェクションマッピングについて楽しくお話しします。

小室 晴陽 (こむろはるひ)
北翔大学 教授
専門: 建築 CAD・CG、建築設計、
建築幾何形状モデリング、
博士(工学)、一級建築士

千里 政文 (ちさとまさふみ)
北翔大学 教授
専門: 福祉住環境、インテリアデザイン、人にやさしい北国のユニバーサルデザイン、一級建築士

松澤 衛 (まつざわまもる)
北翔大学 准教授
専門: 3次元 CG、映像、写真、
Web、コンピュータを使用した様々な映像表現の研究

同質性から異質性へ 大学アートという創造性

13:45~15:10

100年前、夏目漱石は「道楽と職業」という講演の中で、道楽は自分本位であり、職業は他人本位であるとした上で、道楽を突き詰めてその表現が他人から評価を受ければ、自分本位が他人への貢献にもつながることを説きました。本講座では、未だに有効で鮮明なこの考えを重点として、次代の大学教育のあり方について、大学それ自身が「アート」となるという発想の重要性を考えます。

武邑 光裕 (たけむらみつひろ)

北翔大学客員教授/札幌市立大学デザイン学部教授・メディア美学者
日本大学芸術学部専任講師、京都造形芸術大学情報デザイン科助教授、同大メディア美学研究センター所長、東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻メディア環境学分野助教授を経て、2006年より札幌市立大学デザイン学部教授。専門はメディア美学、創造経済。日本におけるメディア・アーツ振興やインターネット文化論の草分け的存在として多彩な活動を展開。著書『記憶のゆくたて』(東京大学出版会)で、第19回電気通信普財団テレコム社会科学賞を受賞。札幌メディアアーツ・ラボ(SMAL)所長。創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会副会長。NPO法人都市文化創造機構理事。



コーチングの考えを 生かした子育て

15:20~16:20

コーチングは、問答型コミュニケーションにより、人々が潜在的に持っている力を最大限に発揮できるように支援する方法です。子どもたちの自己肯定感を高める理論と技術をわかりやすく解説します。

山谷 敬三郎 (やまやけいざぶろう)

北翔大学 教授、北翔大学大学院生涯学習学研究所長

北海道立教育研究所教育経営研究部学校経営研究室長、北海道教育庁空知教育局義務教育指導班指導主事等を経て現職。博士(教育情報学)東北大学、北海道公立学校スクールカウンセラー、学校心理士スーパーバイザー、ガイダンスカウンセラー。日本教育心理学会理事、日本応用教育心理学会理事など。著書:「支えつづけること」ぎょうせい、「教育学講義」北海道教育社、「学校臨床心理学入門(共著)」、「シリーズ教育の経営1(共著)」玉川大学出版部など



平成25年 無料
10月26日(土)
13:00~16:20
定員150名 12:30開場

会場: 北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」、ポルトホール
札幌市中央区南1条西22丁目1-1
※地下鉄東西線「西18丁目」徒歩7分



事前お申込み(当日受付可)
北翔大学エクステンションセンター
〒069-8511 江別市文京台2-3番地
Tel.011-387-3939(直通)
kouzacen@hokusho-u.ac.jp

 北翔大学